

(様式3の2)

## つくば市国民健康保険データヘルス計画(第2期)(案)の 背景・経緯等

つくば市保健福祉部国民健康保険課

### ○ 計画等を必要とする背景・提案に至るまでの経緯

近年、特定健康診査の実施や診療報酬明細書等(以下「レセプト等」という。)の電子化の進展、国保データベースシステム等の整備により、保険者の健康や医療に関する情報を活用して、被保険者の健康課題の分析や保健事業の評価等を実施するための基盤の整備が進んでいます。

こうした中、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)では、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の策定・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することになりました。

つくば市においては、このような背景を踏まえ、厚生労働省が定める国民健康保険法第82条に基づく保健事業の実施等に関する指針に基づき、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、データヘルス計画(第1期)を平成28年度に策定し、特定健診受診率の向上及び生活習慣病の発症や重症化予防等の保健事業の実施及び評価を行っています。第1期計画が平成29年度で終了するため、計画内容の見直しを実施し、第2期計画を策定します。

### ○ 他の自治体の類似する計画等の事例

データヘルス計画の策定は、全市区町村(国民健康保険者)の努力義務とされているが、全国のほぼすべての市区町村で策定済または策定中である。

### ○ 未来構想における根拠又は位置付け

第2章 3 まちづくりの理念

I 人を育み、みんなで支えあうまち  
健康・福祉の増進

### ○ 関係法令及び条例等

国民健康保険法第82条に基づく保健事業の実施等に関する指針

### ○ 計画等の実施により予測される影響及び効果(算出できるものはコストを含む)

計画に基づきPDCAサイクルに沿って効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、健康づくりの推進や生活習慣病の発症予防及び重症化予防が図られる。このことにより、国民健康保険被保険者を含む市民の健康保持増進につながり、健康寿命の延伸や将来的な医療費の削減が期待できる。

# つくば市国民健康保険 データヘルス計画 (第2期) (案) 平成30年度～平成35年度 (2018～2023) 概要版

## 第1章 計画策定の目的と背景

### (1) 計画策定の目的と背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画としてデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することになりました。

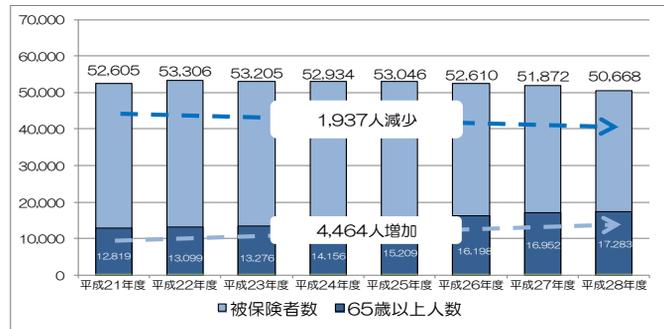
つくば市においては、このような背景を踏まえ、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、「つくば市国民健康保険データヘルス計画(第2期)」を策定しました。

〈目的〉生活習慣病の予防による健康寿命の延伸と医療費の適正化

### (2) つくば市とつくば市国民健康保険の状況

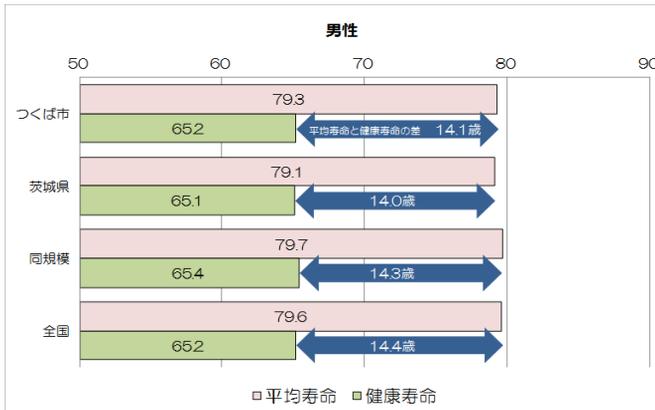
つくば市の人口は、平成16年度以降年々増加しています。一方、つくば市国民健康保険の被保険者数は、平成25年度以降年々減少傾向にあります。65歳以上が増加していること、全国や茨城県と比べて、男女ともに39歳以下が多く、子育て世代の若い人が多いことが特徴です。

つくば市の被保険者数経年推移

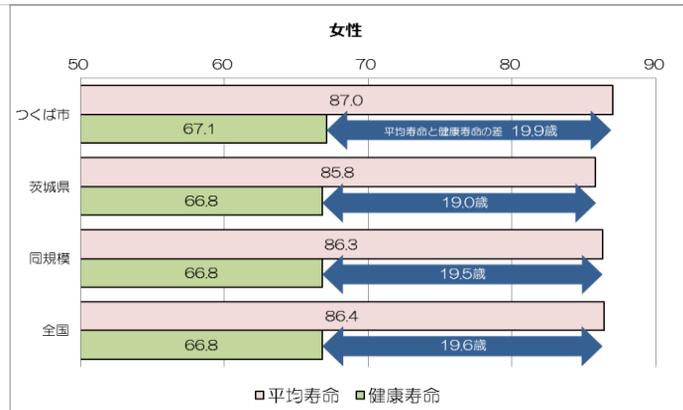


(単位：人)

つくば市の平均寿命と健康寿命の差は、男性は14.1歳、女性は19.9歳で茨城県よりも長く、医療や介護が必要な期間が長い傾向にあります。



(単位：歳)



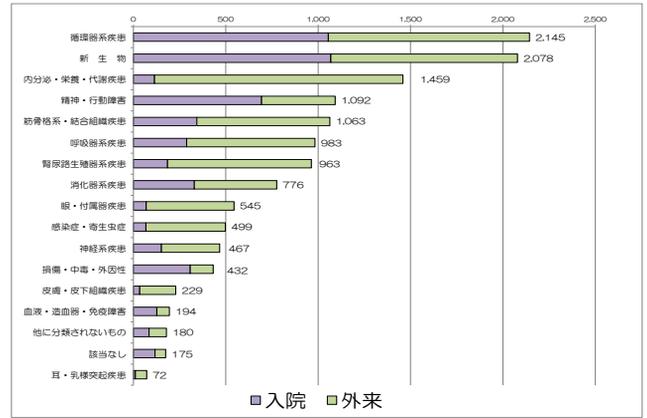
(単位：歳)

※同規模とは、国保データベースで比較可能な同規模自治体である特例市を表す。

(1) 医療費・疾病状況の把握

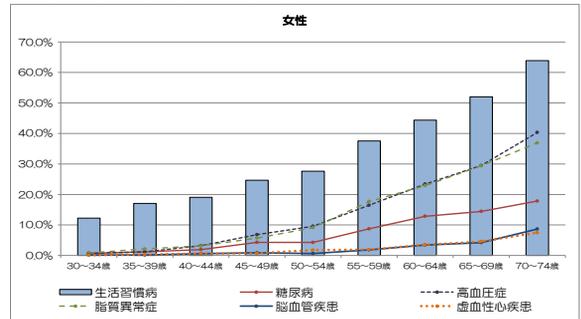
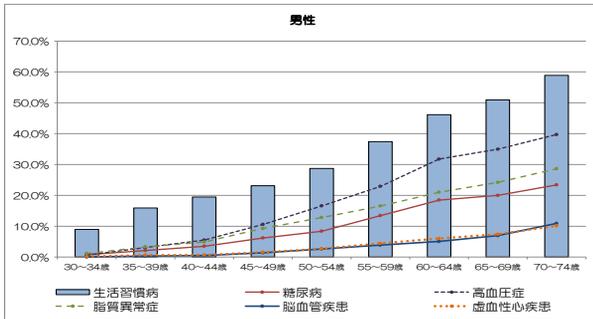
つくば市では、循環器系疾患（高血圧症や脳血管疾患、心疾患等）、新生物（がん等）、内分泌（糖尿病や脂質異常症等）といった生活習慣病関連の医療費が高くなっており、特に65歳以上の被保険者の50%以上が生活習慣病関連の疾患で病院にかかっています。

疾病分類別医療費



(単位：百万円)

被保険者数に対する生活習慣病関連疾患受診者数の割合



生活習慣病関連受診者の一人当たり年間医療費に注目すると、慢性腎不全（透析あり）が約500万円と高額です。

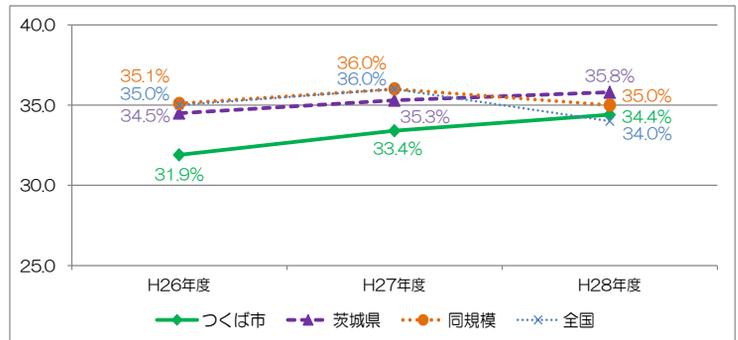
	一人当たり医療費	
	男性	女性
慢性腎不全（透析あり）	4,874,674	5,015,839
糖尿病	330,511	228,351
高血圧症	409,226	291,970
脂質異常症	245,781	207,622

(単位：円)

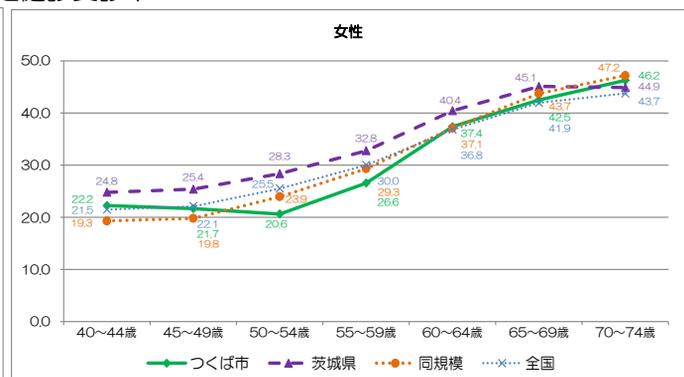
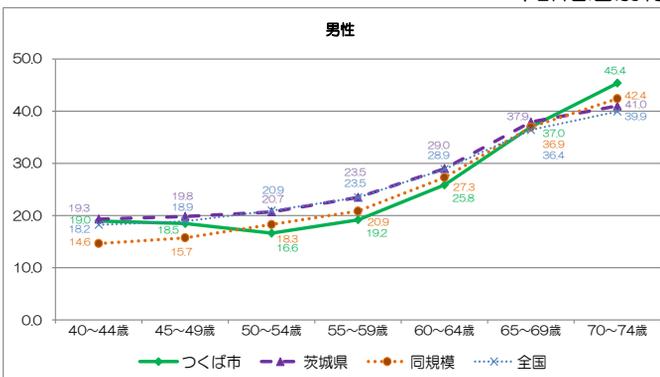
(2) 健診状況の把握

特定健診受診率は増加傾向にあります。県・同規模と比較して低く、年齢階層別にみると男女ともに40・50歳代の受診率が低い状態です。

特定健診受診率



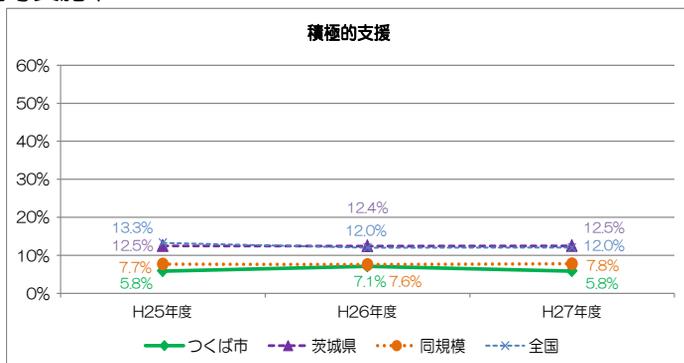
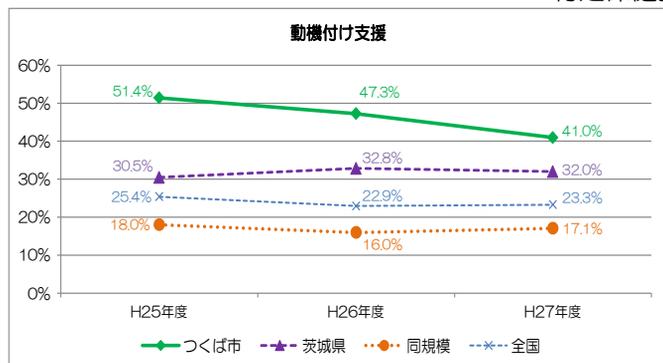
年齢階層別特定健診受診率



### (3) 特定保健指導状況の把握

特定保健指導の動機付け支援実施率は県・同規模・国と比較して高いですが、積極的支援実施率は県・同規模・国と比較して低い状態です。

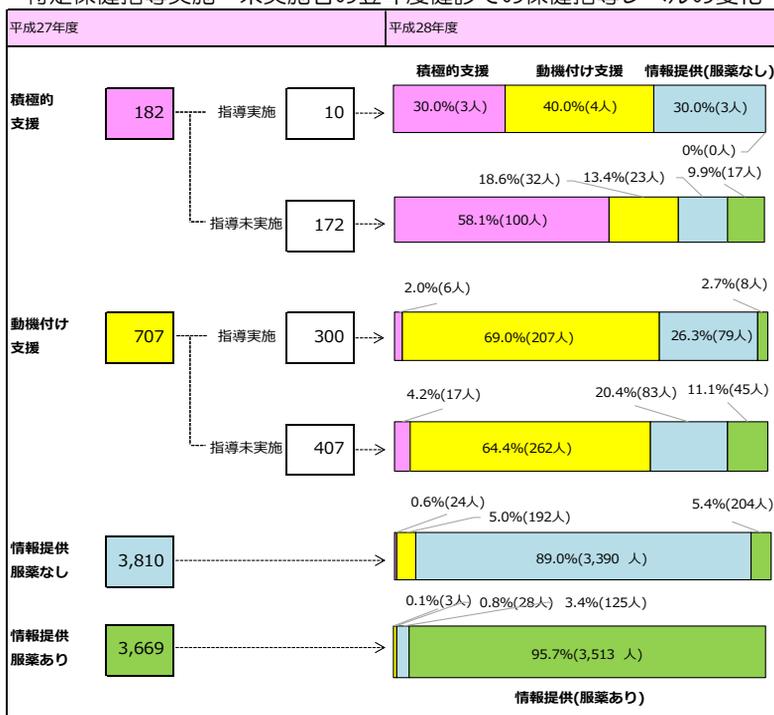
特定保健指導実施率



平成27年度の積極的支援実施者は、平成28年度の健診において70.0%が動機付け支援及び情報提供（服薬なし）に改善しています。指導未実施者は58.1%が平成28年度も積極的支援に該当しています。

平成27年度動機付け支援実施者は、平成28年度積極的支援に該当する割合と情報提供（服薬あり）に該当する割合が指導未実施者に比べて低くなっています。

特定保健指導実施・未実施者の翌年度健診での保健指導レベルの変化



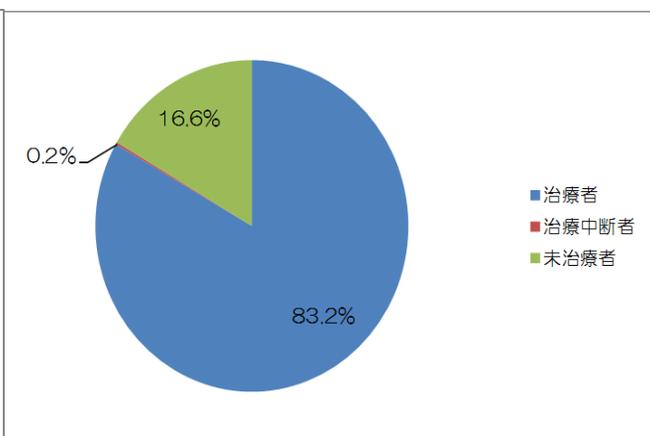
### (4) 糖尿病の状況把握

平成26年度に比べてHbA1c受診勧奨対象者数は増加傾向にあります。その受診勧奨対象者の中に、未治療者がいることから、重症化を予防するため、未治療者への対策が必要です。

HbA1c受診勧奨対象者（HbA1c 6.5%以上）数の経年変化



HbA1c受診勧奨対象者の治療状況 (治療者・中断者・未治療者割合)



(1) 目標

本計画はつくば市の重点課題である(1)健康づくりの推進、(2)特定健康診査受診率の向上、(3)特定保健指導実施率の向上、(4)糖尿病重症化予防を柱に、各種事業を積極的に展開することで健康寿命の延伸、医療費の適正化を目指します。

健康寿命は、平成35年度までに男性は65.4歳、女性は67.3歳にすることを目標とします。

また、総医療費は平成35年度には約172億円になっていますが、高齢化の進展等により総医療費は増加すると予測されるため、前年度に対する伸び率を抑制することを目標とします。

(2) 評価指標

(単位：歳)

	現状値		目標値					
	平成27年度	平成28年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
健康寿命(男性)	65.2	65.2	65.2	65.2	65.2	65.3	65.3	65.4
健康寿命(女性)	67.1	67.1	67.1	67.1	67.1	67.2	67.2	67.3

※健康上の問題がない状態で日常生活を営むことのできる期間を表す「健康寿命」を指標としました。平成35年度の目標値は、男性は、同規模市の平成28年度の実績値と同じ値に設定しました。女性は、すでに同規模市の平成28年度の実績値を上回っているため、男性が0.2歳伸ばした値に設定したことに合わせて、同じ伸びの値で設定しました。

(単位：百万円)

	現状値		目標値					
	平成27年度	平成28年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
総医療費	14,316	14,439	15,274	15,686	16,094	16,496	16,892	17,281
対前年度比伸び率	6.6%	0.9%	2.8%	2.7%	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%

※健康状態を示す指標として、「総医療費」、「総医療費の対前年度伸び率」を指標としました。対前年度比伸び率は、平成26年度から平成28年度までの伸び率の平均が3.1%であったことから、平成29年度の伸び率を平成28年度比2.9%増と設定し、その後毎年度0.1%ずつ伸び率が抑制されるよう設定しました。

医療費・疾病の分析、特定健診及び特定保健指導の分析から、今期本市が重点的に取り組む主な課題と対策をまとめました。

### (1) 健康づくりの推進

#### ○課題

つくば市は平均寿命と健康寿命の差が大きく、健康寿命を延ばす必要がある。

#### ○対策

企業と連携した健康講話や体操教室の開催、食育普及活動等で地域を活性化させ、全ての世代において健康づくりを推進し、要介護期間移行への時期を遅らせる取組を実施する。

#### ○保健事業「健幸長寿日本一をつくばから」

- ・多世代交流出前教室
- ・出前体操教室 等

### (2) 特定健康診査受診率の向上

#### ○課題

受診率は年々上昇しているものの被保険者の約3割しか受診していない。受診率の向上のため、継続して特定健診の啓発や未受診者への受診勧奨の実施が必要である。

#### ○対策

生活習慣病の早期発見や重症化を防ぐため、受診勧奨の実施及び健診体制の充実を図る。

#### ○保健事業

- ・特定健診受診勧奨
- ・かかりつけ医からの診療情報提供

### (3) 特定保健指導実施率の向上

#### ○課題

特定保健指導の実施率向上のため、継続して特定保健指導の啓発や未利用者への利用勧奨を実施し、生活習慣病の発症及び重症化を予防する。

#### ○対策

生活習慣病予防のため、対象者が自らの生活習慣の課題を認識するように指導を実施し、健診結果の改善を図る。

#### ○保健事業

特定保健指導利用勧奨（動機付け支援・積極的支援）

### (4) 糖尿病重症化予防

#### ○課題

慢性腎不全（透析あり）の一人当たりの医療費が高額になっている。慢性腎不全を引き起こす原因疾患のうち糖尿病や糖尿病性腎症の重症化予防対策が必要である。

#### ○対策

医療機関受診勧奨後の受診状況を確認し、未受診者には家庭訪問等で医療機関受診勧奨及び保健指導を実施する。医師会との連携方法についても検討する。

#### ○保健事業

糖尿病重症化予防（糖尿病未治療者・慢性腎臓病リスク高値者への保健指導）

本市のその他の主な課題と対策をまとめました。

### (1) 医療費・疾病状況

#### ○課題

茨城県や同規模、全国と比べて、狭心症、心筋梗塞、がんの標準化医療費が高い。疾病分類別医療費（大分類）では、循環器系疾患、新生物、内分泌・栄養・代謝疾患といった生活習慣病関連の医療費が高い。

#### ○対策

生活習慣病の基礎疾患である糖尿病、高血圧症、脂質異常症の予防及び重症化予防の取組を実施する。

#### ○保健事業

人間ドック等助成、がん検診補助（健康つくば21において実施）

### (2) 健診関連事業

#### ○課題

生活習慣の改善や受診が必要な者のうち、アプローチが不十分な者がいる。

#### ○対策

レセプトと健診結果を突合し、受診状況を把握しながら効果的な保健指導と受診勧奨を行う。

#### ○保健事業

健診時健康相談、検査高値者の受診勧奨、生活習慣改善レベル者への保健指導、健康アップ教室

### (3) ジェネリック医薬品の使用状況

#### ○課題

ジェネリック医薬品の割合は上昇しているが、国の目標達成に向けてさらなる取組が必要。

#### ○対策

既存事業の継続と後発医薬品についてのわかりやすい情報提供を実施する。

#### ○保健事業

ジェネリック医薬品差額通知

### (4) 重複・頻回受診の状況

#### ○課題

重複・頻回受診は高血圧症、糖尿病、喘息、筋・骨格系の疾病での受診が多い。

#### ○対策

重複・頻回受診の減少に向けてさらなる取組を実施する。

#### ○保健事業

重複・頻回受診者訪問指導

本計画にて策定した事業は、毎年度、目標の達成状況を評価し、必要に応じて事業内容の見直しを行います。なお、計画期間中の平成32年度に実施事業の進捗状況を確認し、中間評価を行い計画を見直します。また、最終年度となる平成35年度には、これまでの検証結果を踏まえて、第3期計画の策定に繋げていきます。